

スコアシート		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.6
Q-1 室内環境			0.40			3.1
1 音環境		3.1	0.15		-	3.1
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00		-	
2 設備騒音対策			-		-	
1.2 遮音		3.4	0.40		-	
1 1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能		4.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 1 室温設定		3.0	0.30		-	
2 負荷変動・過渡制御性			-		-	
3 外皮性能		3.0	0.20		-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50		-	
5 温度・湿度制御			-		-	
6 湿度制御			-		-	
7 時間外空調			-		-	
8 監視システム			-		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		2.7	0.25		-	2.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30		-	
1 1 昼光率		1.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口			-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30		-	
1 照度器具のグレア			-		-	
2 昼光制御		4.0	1.00		-	
3.3 照度		2.0	0.15		-	
1 照度		2.0	1.00		-	
2 照度均斉度			-		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25		-	
4 空気質環境		3.9	0.25		-	3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に採用	4.0	1.00		-	
2 アスベスト対策			-		-	
3 ダニ・カビ等			-		-	
4 レジオネラ対策			-		-	
4.2 換気		3.0	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-	
4 経気計画			-		-	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視	還気空気中のCO ₂ の濃度を監視し外気量の制御を行う	5.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	屋外に喫煙デッキを設け施設内は禁煙としている	5.0	0.50		-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.7
1 機能性		4.0	0.40		-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60		-	
1 1 広さ・収納性	執務スペース9.56㎡/人	4.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応	OAフロア設置、電源容量の確保、通信用スペースの確保	4.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画	誘導基準をほぼ達成+1階多目的トイレに大人用ベッド、主階段の2	4.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40		-	
1 広さ感・景観	天井高2.7mで窓を持っている	4.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース	執務室にリフレッシュコーナーを持っている	4.0	0.33		-	
3 内装計画	評価する取り組み3つに該当	4.0	0.33		-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.31		-	3.6
2.1 耐震・免震		3.8	0.48		-	
1 耐震性	重要度係数1.25	4.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.33		-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔	コンクリート化粧打放しフッソ樹脂塗装	4.0	0.29		-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12		-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29		-	
2.3 適切な更新			-		-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新			-		-	
2 配管・配線材の更新			-		-	
3 主要設備機器の更新			-		-	
2.4 信頼性		4.0	0.19		-	
1 空調・換気設備	災害時の活動拠点室は単独使用可能な系統としている	4.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	災害時は一定期間建物設備を使用可能な設備対応としている	5.0	0.20		-	
3 電気設備	評価する取り組み2つに該当	4.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法	耐震に対して強固な配管固定、建物導入部の配管破損防止措置	4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1 階高のゆとり			5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	3.0	-	
			3.0	0.31	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.38	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.17	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.11	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.22	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			評価する取り組み9ポイント	3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			評価する取り組み6ポイント	5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			評価する取り組み6ポイント	5.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			評価する取り組み4ポイント	3.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-				3.5
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物の熱負荷抑制			建物負荷に応じた空調機の設置	4.0	0.30	-	4.0
2 自然エネルギー利用			5.0	0.20	-	-	5.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			雨水利用、井水利用	5.0	0.50	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			太陽光利用	5.0	0.50	-	
3 設備システムの高効率化			高効率機器の採用	4.0	0.30	-	4.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			運用、維持、保全の基本方針を計画	4.0	0.50	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 節水			節水器具の採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.6	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			雨水を便器洗浄、散水に利用	4.0	0.67	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.6	0.85	-	-	3.6
2.1 資源の再利用効率			3.6	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			5.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料			評価対象とする建材種別4項目	5.0	0.08	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性			評価する取り組み1ポイント	4.0	0.18	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.3	0.18	-	-	
1 消火剤			ハロン消火剤は使用無し	4.0	0.33	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2.2 振動			3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			評価する取り組み1ポイント(広告塔の夜間照明はない)	5.0	0.10	-	5.0
5 温熱環境悪化の改善			1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.15	-	-	3.5
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制			評価する取り組み6ポイント	5.0	0.25	-	
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分 総合スコア
		14991 m ²	-	-	-	
1	建物の熱負荷抑制	4.0	-	-	-	4.0
3	設備システムの 高効率化	4.0	-	-	-	4.0
	個別設備による評価	-	-	-	-	
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	4.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	3.0	-	-	-	-